

# 約400種類の紙・布おむつの展示と相談・助言を通じ高齢生活を支援



浜田きよ子代表



様々な排泄用具の情報発信を行う「むつき庵」(京都市)



館内では約400種類の紙・布おむつ、ポータブルトイレや排泄用具などが展示され、見学や相談に訪れる人も多い



おむつ類をはじめ、排泄用具に関する製品が数多く市販されているが、「どこに売っているか分からない」「どうやって使ったらいいか」「自分に最も適した商品が知りたい」という声も、よく聞かれる。食と排泄は、人間の暮らしの基本であるにもかかわらず、なかなか排泄のことや用具について相談できる場所が少ないと確かにある。また販売現場のスタッフや、さらには介護関係職種の人でも、排泄に関する知識を十分に持っていないことも結構あるようだ。

こうした背景から、排泄用具の情報

を提供し、様々な用具を実際に手に取ることができ、さらには排泄・介護について気軽に相談もできる場所があれば——として、約6年前にオープンしたのが、排泄用具の情報館「むつき庵」(京都市上京区、代表浜田きよ子氏)。株式会社排泄総合研究所が運営する「むつき庵」では、展示・相談に加えて、排泄の困りごとに 対して、おむつを含む排泄用具はもとより、医療や住環境、食事など幅広い視点からアドバイスできる「オムツファイッター」の育成にも力を入れており、薬局・ドラッグストア関係者の研修も増えているという。

## 排泄用具の情報館

# むつき庵

# 適切な対応と知識を啓発

排泄用具の情報館「むつき庵」の浜田きよ子代表は、介護に関する仕事を始めて20年ほどになる。母親の介護を機に、高齢者の暮らしを広げる道具について学んだのがきっかけという。現在、高齢生活研究所（むつき庵と同所）の所長も務めている。

95年に設立した高齢生活研究所で、高齢者や傷害を持った人について、使いやすい用具とは何かを研究し、また福祉



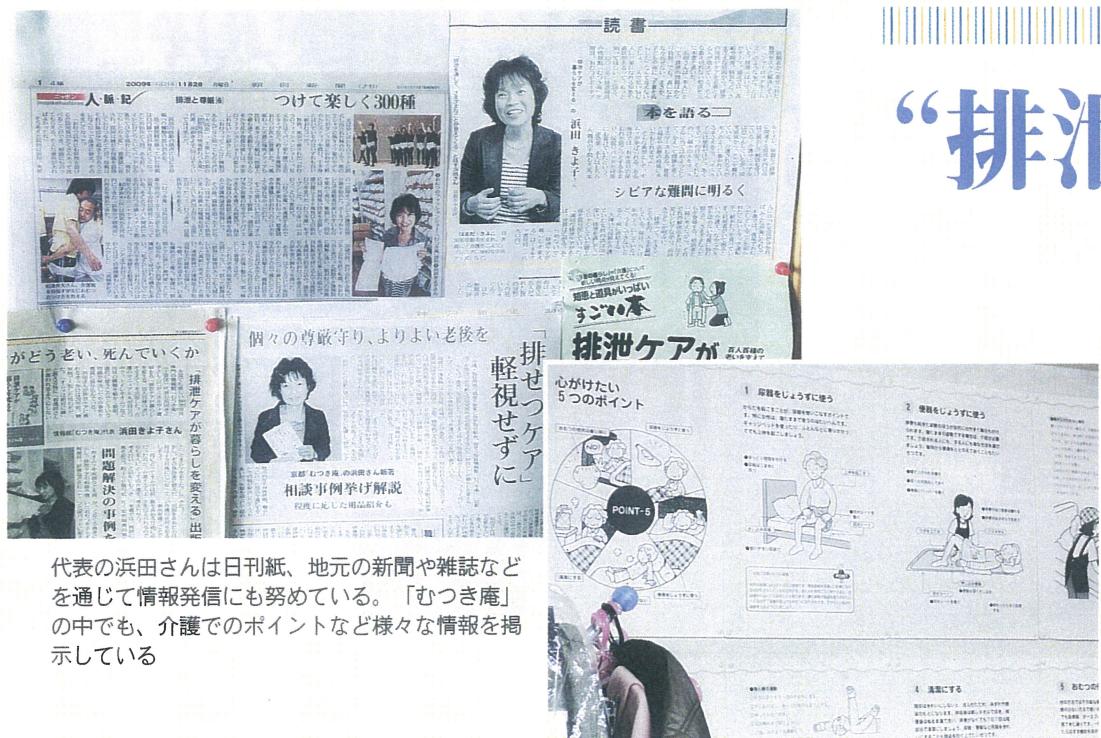
排泄トラブルでは、症状を把握した上で、適切な助言をしたり、最適な用具を選択できれば、生活の質を上げることにつながる。展示されるおむつ・パッドのサンプルは、市販される製品の8割近くにもなるそうで、スタッフと一緒に最適な製品を見つけ、サンプルを差し上げる。小売店で購入する時のために、全部の見本にメーカー名を入れているが、製品リニューアルの際の対応も含め、相当に手間がかかるようだ

75・803・1122、FAX同1  
123 (詳細は <http://www.mutsukian.com>)  
主な活動は、約400種類の紙布おむつを展示し、排泄についての困り事や相談を受け、助言と適切な情報提供を行う。さらに、暮らしを支える優れた道具の展示

家が必要ということで、「オムツフィッター研修」を行っている。オムツフィッターは1級から3級まであり、研修受講後の理解度診断テストで認定された人は、これまで1800人を数える。3級からは270人ほどが2級にステップアップし、さらに50人が1級を取得している状況（各研修要項については、むつき庵のホームページ）

決策を見出しての発表、むつき庵の見学で400種類近くのおむつや福祉用具を体感し、スタッフによるおむつの選び方、当て方などの実技指導もある。

排泄は、身体の移動や衣服の上げ下げ具合、便器の工夫、場合によつては適切なおむつ類など、様々な要素が関係する。尿もれにトヨレで移動したり、あるいは病院での治療が必要なケースもある。本人や販売サイドの独自の判断も多く、場合によってはケアの



代表の浜田さんは日刊紙、地元の新聞や雑誌などを通じて情報発信にも努めている。「むつき庵」の中でも、介護でのポイントなど様々な情報を掲示している

## “排泄ケア”に関する辯

何かを研究し、また福祉用具についての相談や試用のための貸し出しを通して、メーカーなどに用具についての提言も行ってきた。用具と大きなテーマを持ちながら、「排泄」をテーマにしたのが「むつき庵」で、多くの賛同者や企業の協力を得て、活動を続けてい

る。「むつき庵」の開館は、月・土曜日の午前10時～午後5時半だが、月・火曜日は予約の研修会や勉強会、見学会で、水曜日は個別相談日（要予約）、そして木・土曜日が一般者の来館日となっている。住所は京都市上京区下立売通黒門西入橋西二町目648。☎ 0

泄用具の展示、オムツフィッター研修の開催施設での排泄ケアの助言、排泄講座の開催、その他情報発信などで、多岐にわたる。

排泄に何らかの支障が生じた時に、適切な提案や情報があれば、本人や介護者はより快適な生活を送れるが、どこに行つたらいか、誰に相談したらいいか分からぬことが多いのが現状。そこで、おむつを提案するだけでなく、医療や住環境・食事・適切な福祉用具など、幅広い視点から排泄ケアを考えることができる専門

## 「オムツフィッター研修」で

### 専門家も育成

浜田さんは「尿もれと距離があるので間に合わないのか、腹圧がかかった際にも離れておむつなど）②暮らし全体からみた排泄ケア・排泄支援の態度と方法、排泄に関する用具、福祉用具選びの総論――などの講義が行われる。仮想の相談事例に基づいたグループワークの中で、解

いても、トイレまでの距離があるのに間に合わないのか、腹圧がかかった際にも離れておむつなど）②暮らし全体からみた排泄ケア・排泄支援の態度と方法、排泄に関する用具、福祉用具選びの総論――などの講義が行われる。仮想の相談事例に基づいたグループワークの中で、解

られたアセスメントと情報提供が必要だとする。今後も、福祉住環境コーディネーターや介護（ヘルパー）など、幅広い資格を持つスタッフを有する「むつき庵」の活動を通じ、排泄についての不安や困り事に対応していく考えだ。

### 各地に広がる 「ミニむつき庵」

「むつき庵」のような排泄ケアの相談窓口が近くにあれば」という要望から生まれたのが、「ミニむつき庵」。それぞれの地域で、幅広い視点からの排泄相談・情報提供、販売などを目的とし、現在は全国13カ所で活動を行っている。介護ショップとの併設や、施設の中にあったりと形態は様々で、関東エリアでは昨年、東京に「アンドステーション mini むつき庵 nishiki」がオープンしている。



京都の「むつき庵」と同じく、排泄関連用品を多数展示し、専門家が排泄ケアの相談対応や情報発信に努めている。運営するのは、福岡に本社のある介護用品製造・販売のニシキ東京支店で、場所は東京都台東区台東1の12の10、開館日は水・木・金・土曜の午前10時～午後4時。☎・FAXは03・3831・0434。